

水・環境部門

水・環境部門は、パイプインフラ関連製品(ダクタイル鉄管、合成管、官需向けバルブ、素形材、スパイラル鋼管、空調機器等)、環境関連製品(各種環境プラント、ポンプ、民需向けバルブ等)により構成されています。

クボタグループの主要製品



ダクタイル鉄管

上下水道や農業用水などのインフラに使用されます。



ポンプ

上下水道や農林、雨水市場などで水に圧力を与えるために使用されます。



バルブ

上下水道や農業用水などの水や気体を制御するために使用されます。



浄化槽

下水道が整備されていない地域の排水処理を行います。



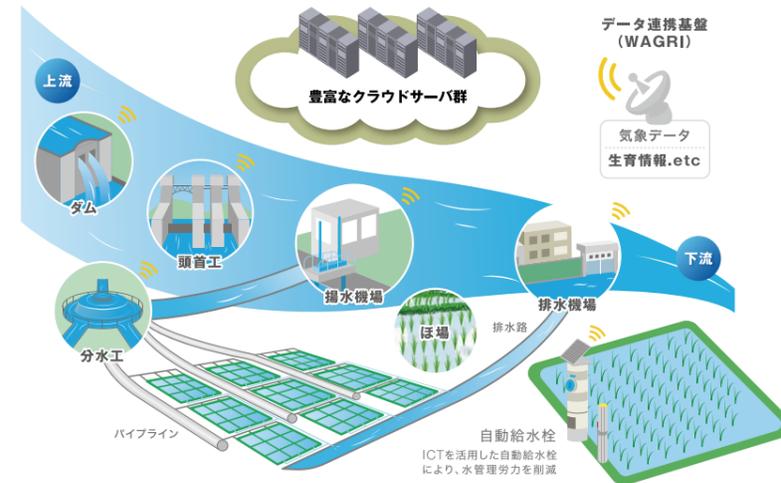
ごみ焼却プラント/灰・溶融プラント

家庭からの燃えるごみを焼却処理して減容化を図るだけでなく、高温の廃熱を利用して発電を行い、低炭素化社会にも貢献する施設です。

Kubota's Innovation

■ クボタがめざすIoTで見守る水環境インフラ

水環境分野においてIoTを活用した新サービス「クボタスマートインフラストラクチャシステム(KSIS)」を開発。現在、NTTグループとの連携協定により、AIによる設備診断などの研究開発を行っており、順次サービスに展開する予定です。製品・プラント機器単体から、システム・アフターサービスまでを含めたトータルソリューションサービスの提供を通じて、国内外のお客様の課題解決に貢献します。



ほ場水管理システム WATARAS(ワタラス)

スマートフォンやパソコンで水田の水位などをモニタリングしながら、遠隔操作や自動制御で水田への給水・排水ができる(国研)農研機構が開発したほ場水管理システムです。



TOPICS

DBO方式による浄水場等建設事業に参画し、水インフラの持続と発展に貢献

近年、浄水施設をはじめとした上水市場だけでなく、下水・雨水排水などの重要なインフラ施設の整備・運転維持管理において、民間活力の導入が進められています。こうした中、クボタグループは、DBO*1等のPPP*2事業を通じた水インフラの持続と発展に貢献しています。

具体的な取り組みとして、2020年3月に岡山県備前市との間で「坂根浄水場及び三石第一加圧ポンプ場整備事業」に関する契約を締結。紫外線処理施設の導入を含む水道施設のDBO方式事業として日本初となる本事業において、クボタグループは浄水場及び加圧ポンプ場の土木・建築及び機械設備の設計・製作・建設工事及び、市水道施設の運転維持管理業務を担います。

また、2020年3月には青森県弘前市との間で「樋の口浄水場等建設事業」に関する契約を締結しました。本事業の対象施設である樋の口浄水場、岩木川取水ポンプ場及び常盤坂増圧ポンプ場は、施設の老朽化や耐震性不足への対策が急務となっています。クボタグループでは、浄水場及びポンプ場における機械設備の設計・製作・建設工事、及び市水道施設の運転管理業務を担い、弘前市水道事業の長期間にわたる安定的で効率的な運営の実現に寄与し、安全・安心な水道水の供給に努めていきます。クボタグループは、上水・下水における様々な製品・技術・サービスを有する「水」のトータルソリューション企業として、グループ全体の総合力を活かし、今後も社会の課題解決に貢献していきます。



坂根浄水場完成イメージ



新「樋の口浄水場」完成イメージ

*1 Design Build Operate : 設計、建設、運転管理一括発注

*2 Public Private Partnership : 官民連携